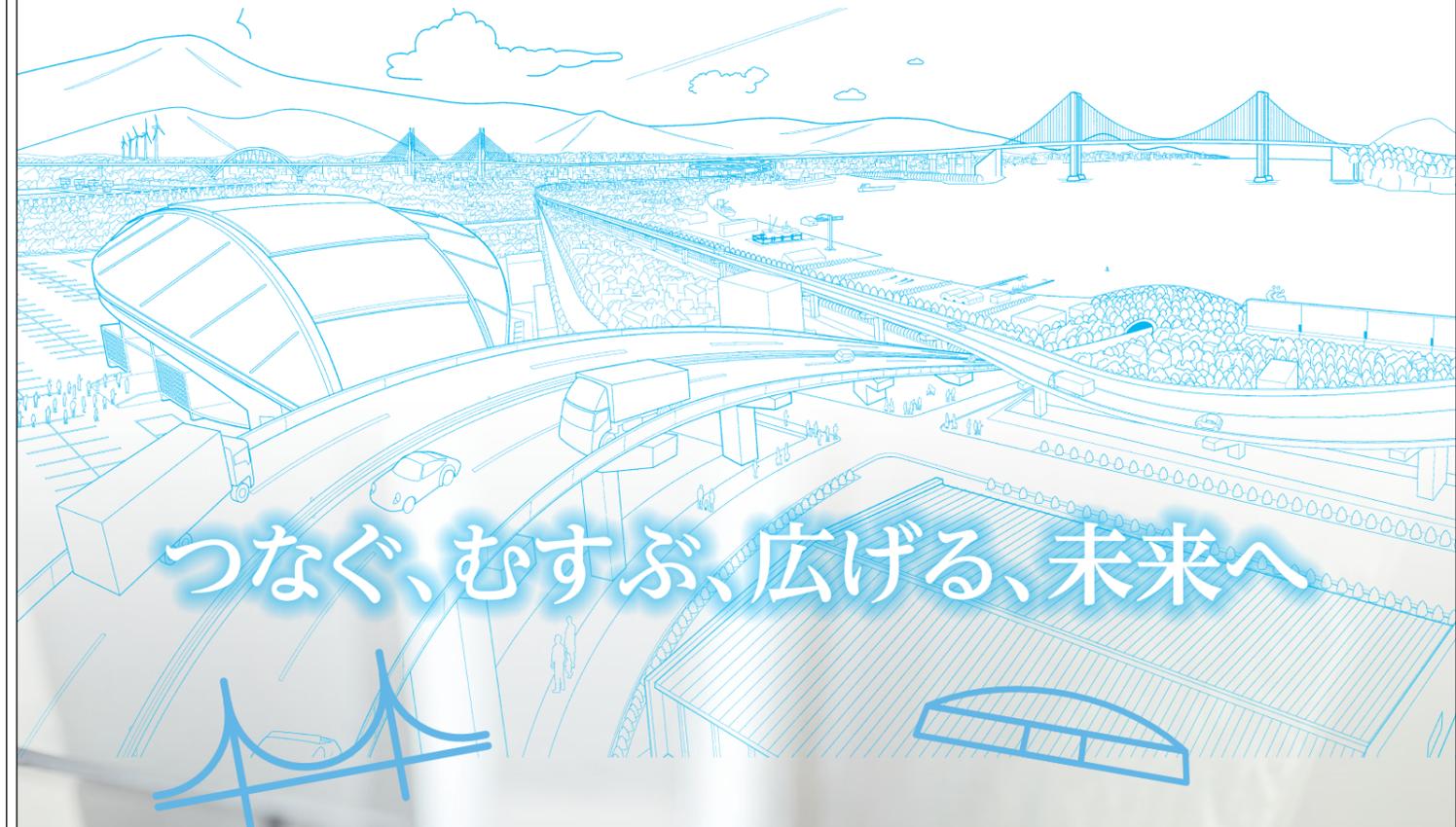




株式会社 横河ブリッジホールディングス



つなぐ、むすぶ、広げる、未来へ



株式会社 横河ブリッジホールディングス

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44  
TEL.03-3453-4111 FAX.03-3453-4616  
<https://www.ybhd.co.jp/>



株式会社 榑崎製作所

〒050-8570 北海道室蘭市崎守町385番地  
TEL.0143-59-3611 FAX.0143-59-4688  
<https://www.narasaki-ss.co.jp/>



株式会社 横河ブリッジ

〒273-0026 千葉県船橋市山野町27  
TEL.047-437-8000 FAX.047-495-2910  
<https://www.yokogawa-bridge.co.jp/>



株式会社 横河ブリッジ技術情報

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44  
TEL. 03-5442-1701 FAX.03-5442-1702  
<https://www.yti.co.jp/>



株式会社 横河ブリッジシステム建築

〒273-0026 千葉県船橋市山野町47-1  
TEL.047-410-3215 FAX.047-410-3280  
<https://www.yokogawa-yess.co.jp/>



株式会社 ワイシーイー

〒273-0026 千葉県船橋市山野町47-1  
TEL. 047-435-6535 FAX.047-435-6538  
<https://www.yceng.co.jp/>



株式会社 横河NSエンジニアリング

〒314-0255 茨城県神栖市砂山16番地5  
TEL.0479-46-6688 FAX.0479-46-6684  
<https://www.ynse.co.jp/>



C o r p o r a t e P r o f i l e

# 次の100年

つなぐ、むすぶ、広げる、未来へ

1907年に前身の横河橋梁製作所として誕生して以来、長きにわたり、国内外の社会インフラ整備に力を注ぎ続けるとともに、さまざまな分野へ事業を展開してまいりました。

そして、多岐にわたるグループの力を有機的に結合し、深く社会に貢献するために、横河ブリッジホールディングスは、2007年8月に誕生しました。

常に業界をリードし続ける橋梁事業を中心に多彩な力を融合させ、社会に貢献する事業活動を展開しています。さらにシステム建築事業、エンジニアリング事業（土木関連事業、建築・機械鉄構事業）、先端技術事業、新規事業開発にも積極的に取り組み、次なる発展に向けて盤石の体制を整えています。

今こそ創業以来100余年にわたり脈々と受け継いできた社会への責任、そして経営理念「社会公共への奉仕と健全経営」をあらためて強く心に刻み、横河ブリッジホールディングスだからこそできる社会基盤整備にグループの総力を結集してまいります。高度な技術力、豊富な実績と多才な人材を擁する「技術の横河」は、これからも次の100年に向けて、安全・安心で快適な社会基盤の実現を目指し、活動を続けていきます。

# 社会基盤の整備を通して 世界の未来へ貢献する。

横河ブリッジグループは、新設・保全を中心とした橋梁事業や工場・倉庫建設のシステム建築事業、地下構造物や開閉屋根などのエンジニアリング事業を通じて、社会インフラや社会生活の基盤整備に注力してまいりました。

近年、社会構造や産業の変革が加速するなか、人やモノのつながりを支える社会インフラの重要性はますます高まっています。当社グループでは、こうした時代のニーズに応えるべく、伝統に裏打ちされた匠の技と、最新のデジタル技術を融合させた技術革新を推進し、高品質で安全な社会資本の整備に取り組んでいきます。

私たちの役割は、第一に業界トップランナーとして絶え間ない挑戦を続けること、第二にデジタル技術を活用し事業のスマート化を推進すること、第三に強靱な社会資本の整備と自然環境との共生を図ること、そして第四に、技術を未来へ「つなぐ」多様な人材を育成することです。ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点も重視し、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みを積極的に進めていきます。

当社グループは、「社会公共への奉仕と健全経営」という創業からの企業理念を大切にしつつ、より豊かで安心できる社会づくりに貢献してまいります。

株式会社 横河ブリッジホールディングス  
代表取締役社長 **高田 和彦**



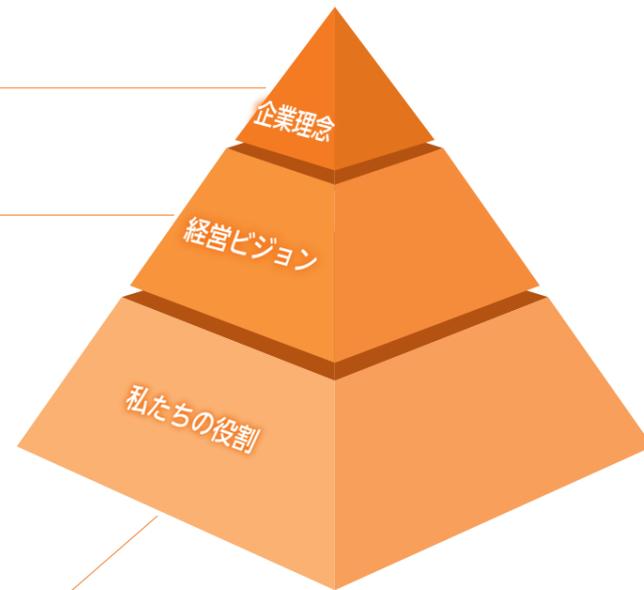
# 横河ブリッジグループの理念体系

## 企業理念

「社会公共への奉仕と健全経営」

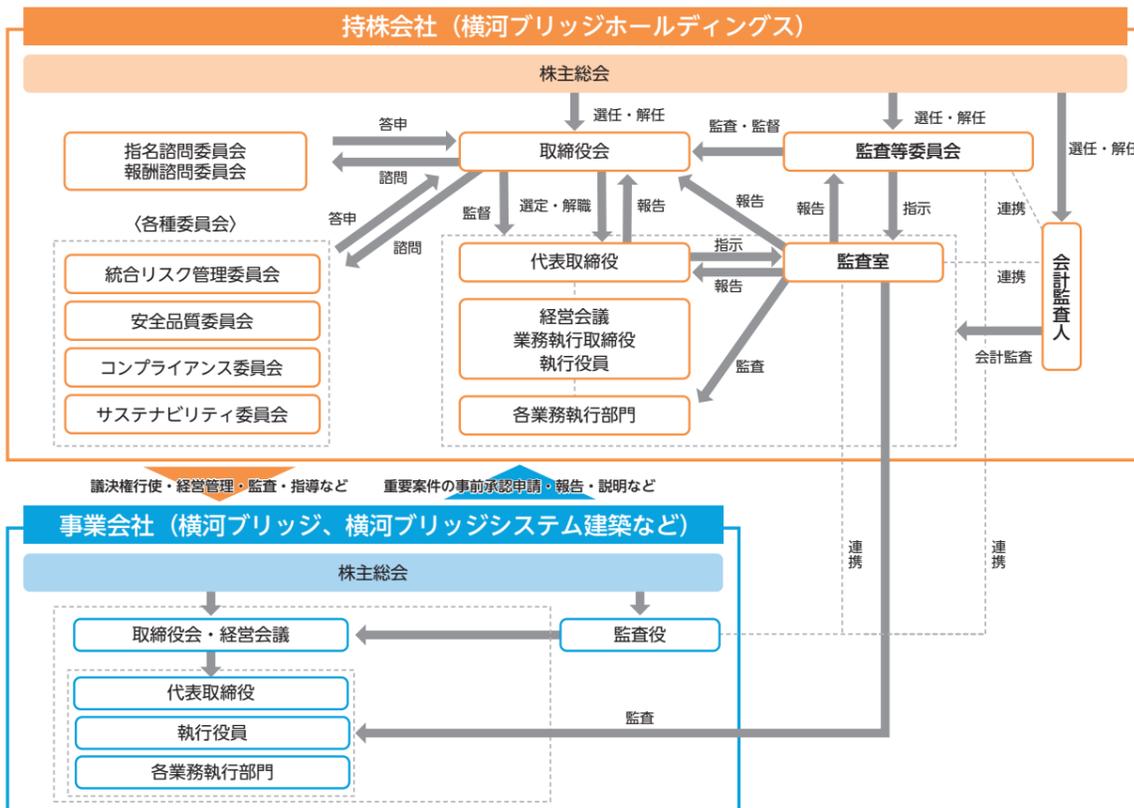
## 経営ビジョン

匠の技とデジタル技術を融合し、  
良質な社会インフラを提供することで、  
安全・安心で豊かな暮らしに貢献します



## 私たちの役割

- 1 業界トップランナーとして絶え間ない挑戦を続ける
- 2 デジタル技術を活用し事業のスマート化を推進する
- 3 強靱な社会資本の整備と自然環境との共生を図る
- 4 技術を未来へ「つなぐ」多様な人材を育成する



当社グループでは、設計から製作・架設・施工・保全・診断までを一貫して手掛けることができる総合的な技術提案力を強みとする橋梁事業を中心に、システム建築事業、鋼製セグメントなどのエンジニアリング事業、精密機器製造や情報処理を行う先端技術事業など、幅広い事業を展開しています。

## セグメント構成

|            |           |   |
|------------|-----------|---|
| 橋梁事業       | 新設橋梁事業    | ● 新設橋梁の設計・製作・現場施工   |
|            | 保全事業      | ● 既設橋梁の維持補修   |
|            | 海外事業      | ● 海外橋梁の設計・製作・現場施工   |
| システム建築事業   | システム建築事業  | ● システム建築の設計・製作・現場施工   |
| エンジニアリング事業 | 土木関連事業    | ● トンネルセグメントの設計・製作<br>● 海洋構造物・港湾構造物の設計・製作                        |
|            | 建築・機械鉄構事業 | ● 超高層ビル等の鉄骨建方および鍛冶工事<br>● 可動建築システム (YMA) の設計・製作・現場施工<br>● 水処理事業 |
| 先端技術事業     | 精密機器製造事業  | ● 液晶パネル・有機ELパネル・半導体製造装置向け高精度フレームの生産                             |
|            | 情報処理事業    | ● ソフトウェア開発  |
| その他事業      | 不動産事業     | ● 一部保有不動産を物流倉庫などとして貸し出し   |

## グループ会社と担当事業

|                                   | 連結子会社 | 持分法適用会社 | グループの経営管理 | 橋梁事業 | システム建築事業 | エンジニアリング事業 | 先端技術事業 | その他事業 |
|-----------------------------------|-------|---------|-----------|------|----------|------------|--------|-------|
| 横河ブリッジホールディングス                    |       |         | ●         |      |          |            |        | ●     |
| 横河ブリッジ                            | ○     |         |           | ●    |          | ●          | ●      |       |
| 横河ブリッジシステム建築                      | ○     |         |           |      | ●        |            |        |       |
| 横河NSエンジニアリング                      | ○     |         |           | ●    |          | ●          |        |       |
| 榑崎製作所                             | ○     |         |           | ●    |          | ●          |        |       |
| 横河ブリッジ技術情報                        | ○     |         |           |      |          |            | ●      |       |
| ワイ・シー・イー                          |       | ○       |           | ●    |          |            |        |       |
| Yokogawa Bridge Techno Pilippines |       |         |           | ●    | ●        | ●          |        |       |

# 横河ブリッジグループのあゆみ

1907

創業～戦時下  
そして戦後復興

1907年  
横河民輔が横河ブリッジの前身である  
横河橋梁製作所を創業



1913年  
当時国内最大級の跨線橋  
八ツ山橋



1938年  
当時国内最優秀の建造物であった  
第一生命本社ビル用鉄骨生産を担当  
戦後はGHQの本部が置かれた



1955年  
橋梁の長大化の幕開け  
西海橋

1960

高度成長の波  
超高層の横河



1968年  
鉄骨メーカーの先駆け  
日本初の超高層ビル  
霞が関三井ビルディング(現 霞が関ビルディング)



1970年  
世界貿易センタービル  
同年 京王プラザホテル



1974年  
鉄骨メーカーとして超高層ビル建設を支える  
新宿三井ビル

1990

日本の大動脈を  
つなぐ



1993年  
東京の新たなランドマーク  
レインボーブリッジ



1998年  
当時世界最長の吊橋  
明石海峡大橋



1999年  
3つの長大橋により構成された世界初の3連吊橋  
来島海峡大橋

2000

高度化する  
技術



2001年  
可動建築システム(YMA)を採用した  
豊田スタジアム



2003年  
横河NSエンジニアリングの  
合成セグメントが用いられた  
京都市高速鉄道東西線六地藏工区



2009年  
香港が誇る世界最大級の複合斜張橋  
ストーンカッターズ橋

2010

巨大な空間を  
むすぶ



2011年  
広大で美しく快適、新しく生まれ変わった  
大阪駅



2016年  
目的や用途に合わせたシステム建築  
那須の恵 Mekke!



2018年  
国内最大のソリッドリブ形式アーチ橋  
天城橋

2020

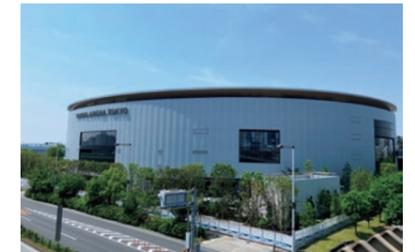
未来へ  
広げる



2024年  
最大支間長(85.5m)、下り勾配(1.96%)の  
一週間送出し架橋  
三連道路9号橋



2024年  
部分2階を採用したシステム建築  
太平洋セメント販売株式会社柏物流センター



2025年  
トラス屋根が彩る次世代の空間  
トヨタアリーナ東京

1907年 大阪市西区境川86番地に横河民輔が横河橋梁製作所を創業

1963年 横河工事株式会社設立

1991年 株式会社横河橋梁製作所から

株式会社横河ブリッジに社名変更

2007年 株式会社横河ブリッジホールディングス設立

2015年 株式会社横河ブリッジと横河工事株式会社が合併  
(存続会社：横河ブリッジ)

2001年 株式会社横河システム建築設立

2026年 株式会社横河システム建築から  
株式会社横河ブリッジシステム建築に社名変更

2003年 株式会社榎崎製作所の株式を取得し、グループ会社とする

2009年 株式会社横河住金ブリッジの株式を取得し、グループ会社とする

2019年 株式会社横河住金ブリッジが  
株式会社横河NSエンジニアリングに社名変更

1984年 株式会社横河技術情報設立

2026年 株式会社横河技術情報から  
株式会社横河ブリッジ技術情報に社名変更

1991年 株式会社横河ニューライフ設立

2024年 横河ブリッジホールディングスに  
吸収合併

2000年 株式会社ワイ・シー・イー設立

背景写真は、1928年 隅田川六太橋のうち最も上流の言問橋。当時日本最大の橋でした。

暮らしの中の横河ブリッジグループ

# ライフラインをつなぐ

空間をつなぐ



水上をつなぐ



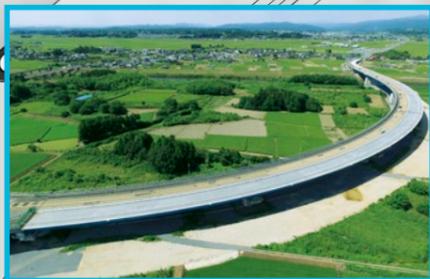
地下をつなぐ



暮らしをつなぐ



地上をつなぐ



ラインをつなぐ



先端技術でつなぐ

# 人と人をつなぐ

当社グループは、良質なインフラや関連製品、およびその他周辺の事業活動において、これまで数多くのライフラインを支えてきました。

川や谷、海、道路、鉄道などを越えて架かる橋は、日々の暮らしや産業経済活動、地域の歴史・文化などに密接な関わりを持っており、私たちのかけがえのない財産であります。

また橋のみならず、地下を通るトンネルももちろん同じ役割を果たし、人びとの生活になくしてはならない存在です。

そして現代では、巨大な建造物を覆う屋根やさまざまな分野で活用される先端技術も人びとの暮らしを支えています。そして、どの構造物も技術も先人たちが知恵を生かし、工夫を凝らしながら努力され、遺してくれた汗の結晶であります。

人・物・心・文化を渡し、人と人・地域と地域をつなぐなど、わたしたちは、まさに架け橋となり、これからも安全で安心な暮らしができる社会創出への貢献を目指してまいります。

# 橋梁事業



事業会社  
横河ブリッジ  
横河NSエンジニアリング  
榑崎製作所  
ワイ・シー・イー

## 新設橋梁事業

### 信頼に応える技術力・提案力で日本の社会インフラ整備に貢献

当社グループは、日本における鋼鉄製橋梁のパイオニアであり、1907年の創業以来110年以上にわたり、絶えず最先端の技術開発に取り組み、日本を代表する多数の橋梁建設に携わるなど、橋梁業界のリーディングカンパニーとして「社会インフラの整備」に貢献し確固たる地位

を築いてきました。一方、近年の橋梁建設においては、設計・製作・架設の全工程を最適化できる総合的な技術提案力が、ますます求められるようになってきました。当社グループは、旧来より「技術の横河」と呼ばれており、長年の経験で培ってきた高度な技術力とマネジメント力を駆使し、発注者の多様な要望に的確に対応することにより厚い信頼を獲得しています。

## 保全事業

### リーディングカンパニーとして「橋を守る」社会的使命を果たす

橋梁事業は、新設から保全へ、フローからストックへという新たな流れが加速しています。近年、日本全国で高度経済成長期に建設された社会資本の老朽化が懸念されるようになり、都市高速道路における橋梁を中心とする大規模更新・大規模修繕や、東海道新幹線における橋梁の大

規模改修などが計画・実施されています。また、橋梁の長寿命化修繕計画、予防保全対策などの早急な策定・実施が課題となっています。当社グループでは、点検・調査から、維持補修工事の設計・製作、現場施工までをトータルに行う保全事業体制を確立しており、橋梁事業のリーディングカンパニーとして、「橋」を守る社会的使命を積極的に果たしてまいります。

## 海外事業

### 東・東南アジア地域を中心に現地インフラの整備に貢献

当社グループは、従来から海外進出を重点戦略として位置付け、新規市場の開拓と現地のインフラ整備事業に積極的に取り組んできました。特に、東アジアおよび東南アジア地域に関しては、日本と同じアジア圏の統一マーケットとして戦略的に捉え、現地と一体化を図るべく営業拠点を設けて事業を強化しています。

#### 主な海外工事実績

- 1997年 カップスイモン橋 (香港)
- 2000年 ジャワ北線鉄道橋 (インドネシア)
- 2008年 C606A工区高架橋 (台湾)
- 2009年 ウズベキスタン鉄道橋 (ウズベキスタン)
- 2009年 ストーンカッターズ橋 (香港)
- 2012年 ベトナム鉄道橋改修CP2 (ベトナム)
- 2014年 ベトナム鉄道橋改修CP1D (ベトナム)
- 2015年 タンジュンプリオク・アクセス道路 [NSリンク工区・E-2A工区] (インドネシア)
- 2019年 N70号線橋梁 (パキスタン)
- 2022年 ナイル架橋 (南スーダン)
- 2022年 モドゥモティ橋 (バングラデシュ)
- 2024年 バゴ橋 (ミャンマー)

#### 主な施工実績

##### 本州四国連絡橋

明石海峡大橋、大鳴門橋、岩黒島橋、南備讃瀬戸大橋、多々羅大橋、大三島橋、来島海峡大橋など

##### その他大型橋梁

横浜ベイブリッジ、レインボーブリッジ、白鳥大橋、鷹島肥前大橋、阿波しらさぎ大橋など

##### 歴史的橋梁

勝間橋、西海橋、若戸大橋、二重橋 (皇居)、関門橋など

相模川橋

伊良部大橋

城ヶ倉大橋

モドゥモティ橋 (バングラデシュ)

# システム建築事業



事業会社  
横河ブリッジシステム建築

## 「yess建築」ブランドの浸透による さらなるシェアアップを目指す

当社グループは、「yess建築」により、工場、倉庫、店舗、スポーツ施設などのシステム建築分野において、業界No.1の地位を確立しました。業界で唯一のシステム建築専用工場をフル稼働させることで、建築コストの低減や生産性向上、工期の短縮を実現し、機能性、耐久性、意匠性に優れた建築物を提供しています。

大型物流倉庫



危険物倉庫



2階建て事務所



スポーツ施設



大型物流倉庫

# エンジニアリング事業



事業会社  
横河NSエンジニアリング  
横河ブリッジ  
楢崎製作所

## 特殊建築事業

建築物を可動させることで  
新たな価値を創造する

プールやスタジアムの開閉屋根や、システム建築を移動させるなど、「可動建築」に関する設計、施工、保守を一貫して手掛けています。建築・機械・電気のエンジニアによって生み出される特殊技術は、高付加価値の建築物としてエンドユーザーのもとへ届けられています。

## 土木関連事業

防災用の港湾・海洋構造物に加え  
大深度地下トンネル事業に挑戦

当社グループでは、これまで長年にわたり橋梁事業で培ってきた、高度な技術とノウハウを応用することで、地震・津波対策としての港湾・海洋構造物の製作に挑戦しています。また、大深度化・大断面化が進む都市内大環状道路などの地下空間利用に対応できる、鋼製セグメント事業にも積極的に注力していきます。

## 建築・機械鉄構他事業

鋼橋施工技術を他分野に応用し  
さまざまなインフラ整備に貢献

橋梁事業の現場施工で培った高度な技術力や画期的なソリューションを建築分野に応用することで、超高層ビルなどの鉄骨建方工事やスタジアムなどの大空間構造物の施工で高い評価を獲得しています。また、ゲート（水門）、船舶上架施設、水処理装置などの機械鉄構事業での受注増加を目指して積極的な営業を行っています。また、洋上風力発電などの新規プロジェクト開拓に向けた技術開発および製品開発にも取り組んでいます。

香港沙田競馬場開閉屋根



大洗漁港上架施設



サンドイッチ型合成セグメント



鋼製カルバート構造



ノエビアスタジアム神戸開閉屋根

# 先端技術事業 研究開発・商品開発

鋼橋製作情報システム「CastarJupiter」

アルミ合金製常設作業パネル「cusa」



事業会社  
横河ブリッジホールディングス  
横河ブリッジ  
横河ブリッジ技術情報

## 精密機器製造事業

橋梁設計・構造解析技術を駆使して  
最先端製品の製造をサポート

橋梁事業で培った鋼構造物の設計技術および生産技術を活用し、半導体や液晶パネルなどの精密機器製造装置の生産をサポートしています。装置の大型化に伴い顕在化する振動や変形などの諸問題に対し、橋梁設計、構造解析のノウハウを最大限に生かして、問題解決に最適な構造体フレームを提案します。また、確かな鋼構造物製造技術に加え、大型五面加工機や大型三次元測定機などを適切に温度管理された工場に配備し、大型で高精度な製品の製造および品質保証を実現します。構造体フレームの設計から製造、品質保証および納品まで一貫した生産管理体制により、コストパフォーマンスに優れた高精密製品を安定的に提供し、お客様から高い評価を得ています。



岸和田工場外観

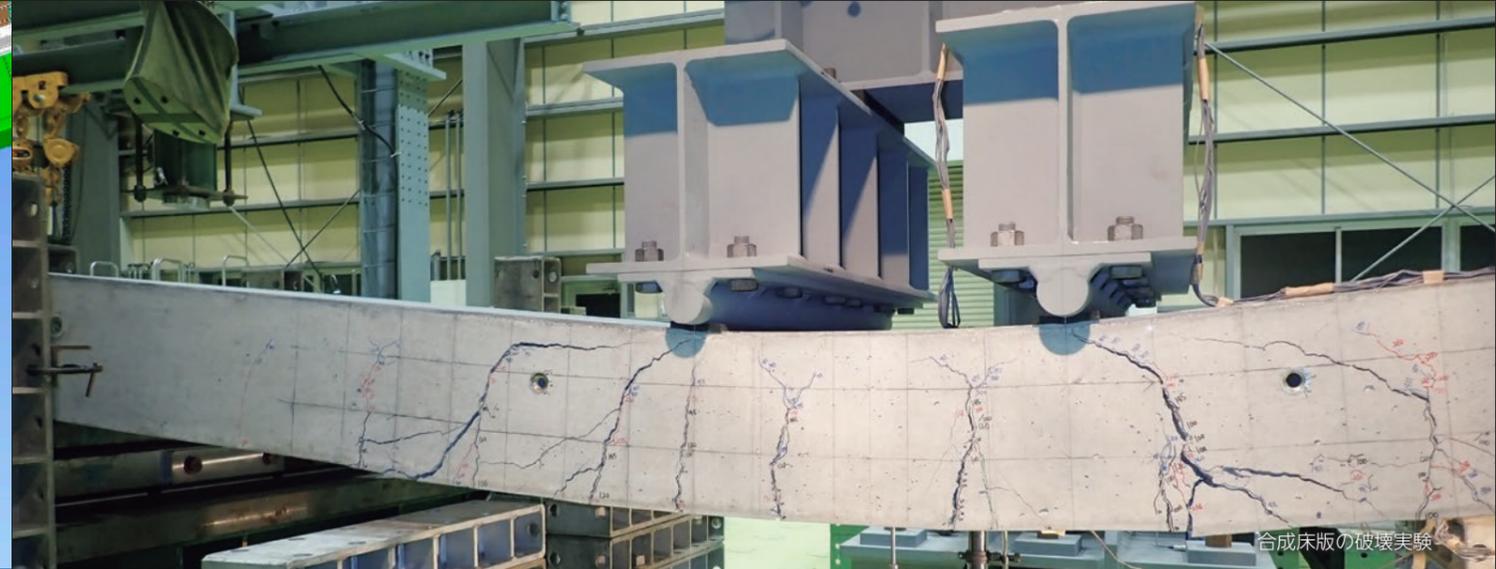
## 情報処理事業

最先端の時代のニーズに応える  
価値あるソリューションを提供

解析・設計 (Modeling)、製造 (Manufacturing)、管理業務 (Management) の3M領域における、ソフトウェアの開発・販売などを展開しています。線形・解析・設計・製図・材料計算の鋼橋設計のトータルシステム「APOLLO」や、鉄構業界向けの製造シミュレーションシステム「CA\* (キャスト) シリーズ」などの商品は、鋼橋業界におけるトップシェア・システムとして高い評価を獲得しています。さらに、計測技術としての三次元計測システムも豊富にラインアップしており、鋼橋設計から製作ならびに管理業務をサポートする商品を提案することで、お客様の要望に応じています。常に時代のニーズに応える価値あるサービスの開発・提供を通して、新規顧客の開拓に力を注いでいきます。



CastarJupiter



合成床版の破壊実験

## 研究開発

未来のニーズをいち早く捉え  
「技術の横河」を支え続ける

「技術の横河」として常に業界をリードしてきた当社グループは、研究開発分野において多数の実績を残してきました。横河ブリッジホールディングス設立後、同社にグループの研究開発部門を集約し、幅広い総合的な技術開発が可能となりました。総合技術研究所には、疲労試験機や輪荷重走行試験機、万能試験機など充実した各種試験機が揃い、グループ全体の技術開発を支えています。



プレキャスト壁高欄の衝突実験



(仮称) 羽田連絡道路の上下部剛結部の載荷実験

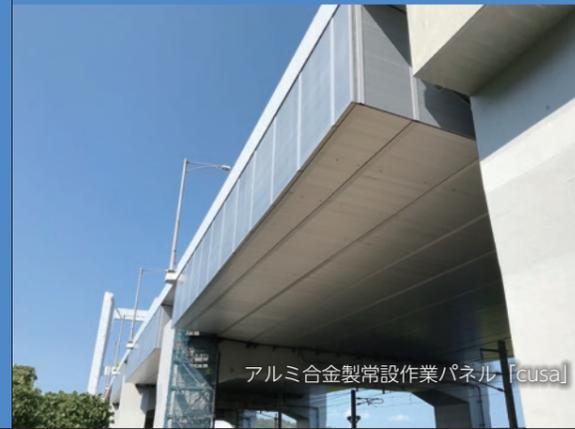


アルミ合金製検査路「KERO」

## 商品開発

耐震関連製品をはじめとする  
橋梁周辺の新商品の開発に注力

大規模地震による落橋などを防止する耐震技術・耐震製品や、橋梁用のほかトンネル用としても需要が見込まれる強度と耐久性に優れた合成床版の開発に取り組んでいます。また、厳しい環境下でのさびの安定化を実現した耐候性鋼の表面処理法「ウェザーアクト」や、耐食性に優れたアルミ合金製の各種製品の開発・実用化も進めています。



アルミ合金製常設作業パネル「cusa」



長大橋へのcusaの設置 (鶴見つばさ橋)



# 株式会社 横河ブリッジホールディングス



「誠実であれ。よいものをつくれ」100年にわたり受け継がれる  
 創業者横河民輔の「ものづくりの心」。  
 グループを貫くその信条は、堅い絆とともに、  
 よりよいものを生み、国境を越え世界へ。



## 国内外の事業ネットワークを拡大し グローバルな社会基盤整備に寄与

多岐にわたるグループの力を有機的に結合し、深く社会に  
 貢献するために、横河ブリッジホールディングスは、  
 2007年8月に誕生しました。国内外の幅広いネットワー  
 クを通して、お客様の多様なニーズにお応えしています。

### 国内主要拠点

- |            |            |
|------------|------------|
| <b>事業所</b> | <b>営業所</b> |
| 北海道室蘭市     | 北海道札幌市     |
| 茨城県神栖市     | 宮城県仙台市     |
| 東京都港区      | 群馬県高崎市     |
| 千葉県船橋市     | 愛知県名古屋     |
| 大阪府堺市      | 岐阜県岐阜市     |
|            | 滋賀県大津市     |
|            | 大阪府大阪市     |
|            | 兵庫県尼崎市     |
|            | 岡山県岡山市     |
|            | 広島県広島市     |
|            | 福岡県福岡市     |
|            | 沖縄県浦添市     |

- 工場**
- 室蘭工場 (北海道)
  - 祝津工場 (北海道)
  - 鹿島工場 (茨城県)
  - 千葉工場 (千葉県)
  - 茂原工場 (千葉県)
  - 大阪工場 (大阪府)
  - いずみ工場 (大阪府)
  - 岸和田工場 (大阪府)

- 機材センター**
- 利根機材センター (茨城県)
  - 播磨機材センター (兵庫県)

- 研究所**
- 総合技術研究所 (千葉県)

### 海外主要拠点

- |         |  |
|---------|--|
| ベトナム    | ベトナム駐在員事務所 (ハノイ市)                                |
| ミャンマー   | ヤンゴン支店 (ヤンゴン市)                                   |
| フィリピン   | マニラ支店 (パシッグ市)                                    |
|         | Yokogawa Bridge Techno Philippines, Inc. (パシッグ市) |
| バングラデシュ | ダッカ支店 (ダッカ市)                                     |



# 株式会社 横河ブリッジ



## 社会インフラの整備・保全を通じて 長年にわたり社会・経済の発展に貢献

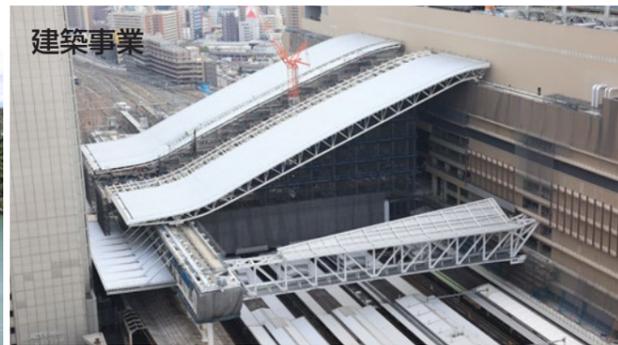
1907年創業の横河ブリッジは、「社会公共への奉仕と健全経営」を理念に、国内外の橋梁の建設、鋼構造物の製造など社会インフラ整備の一翼を担ってきました。現在は設計から架設、補修補強、改築、更新まで一貫して手掛ける総合エンジニアリング会社として、新設橋梁事業や、需要拡大が見込まれる橋梁保全事業、高速道路の更新・大規模修繕事業に注力しています。また、高層建築やドームなどの特殊建築物の建築事業や超高精度加工技術による大型精密構造物の製造事業、既設橋梁のメンテナンス性向上に役立つ製品の開発にも取り組んでいます。さらに海外においても、アフリカや東南アジアなど、成長著しい地域のインフラ整備にも注力してまいります。また、特殊建築事業は、プールやスタジアムの開閉屋根のパイオニアとして可動建築に関する設計、施工、保守を一貫して手掛けています。

### 沿革

- 1907年 大阪市西区に横河民輔が横河橋梁製作所を創業  
大阪工場を開設（1943年閉鎖）
- 1918年 株式会社横河橋梁製作所に組織を変更
- 1922年 新東京工場を芝浦に開設（1969年閉鎖）
- 1964年 大阪支店開設、大阪工場操業開始
- 1969年 東京支店開設、千葉工場操業開始（1999年閉鎖）
- 1991年 社名を株式会社横河橋梁製作所から株式会社横河ブリッジに変更
- 2005年 大阪府和泉市にブリッジステージいずみ工場操業開始
- 2007年 持株会社 株式会社横河ブリッジホールディングス設立
- 2007年 株式会社横河ブリッジホールディングスの完全子会社となり、上場廃止
- 2007年 創業100周年記念式典挙行
- 2019年 大阪府岸和田市に岸和田工場を開設



新設橋梁事業



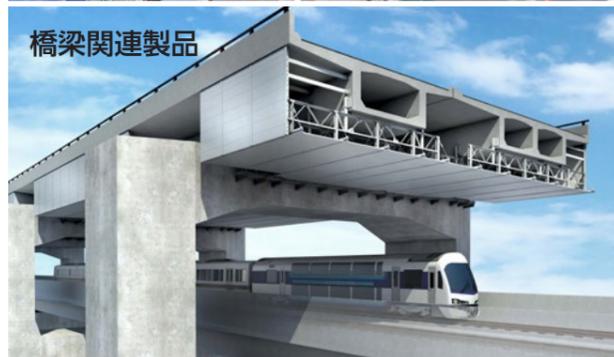
建築事業



保全事業



特殊建築 スタジアム開閉屋根



橋梁関連製品



海外事業



# 株式会社 横河ブリッジシステム建築



## 横河だけの鋼構造技術が生み出す システム建築シェアNo.1の「yess建築」

横河ブリッジシステム建築は、新しい建築スタイル「システム建築」をコア事業として発足し、「yess建築」のブランド名で全国12,000棟を超える建物を手掛けてきました。yess建築の特徴は、国内唯一のシステム建築専用工場と、全国1,300社を超える販売施工代理店（ビルダー）網で、良質な製品を、あらゆる地域に迅速に提供することが可能となり、工場・倉庫・店舗をはじめ事務所やスポーツ施設、最終処分場など、多種多様な用途に採用されています。これからも誠実な対応と社会への貢献を第一に考え、さらなる品質とサービス向上に励み、お客様が満足できる製品を提供していきます。

### 沿革

- 1989年 株式会社横河システム建築の前身であるシステム建築事業部を(株)横河ブリッジ内に発足
- 1990年 袖ヶ浦工場（現 千葉工場）を開設
- 2002年 株式会社横河ブリッジから独立  
株式会社横河システム建築として営業開始
- 2006年 千葉工場設備増強
- 2008年 日本建築センター一般評定取得
- 2019年 茂原工場を開設
- 2026年 社名を株式会社横河ブリッジシステム建築に変更



総合施設



2階建て工場



横河ブリッジシステム建築茂原工場



クローズドシステム処分場



処分場内観



# 株式会社 横河NSエンジニアリング



## 素材開発から設計・製作・施工まで 総合力の高さで業界をリードする

横河NSエンジニアリングは、横河ブリッジホールディングスの技術提案力と住友金属工業（現日本製鉄）の製品開発力、生産力を受け継ぐエンジニアリング事業会社としてスタートしました。業界トップ企業である両社の事業資産をフル活用することで、素材開発から設計・製作・施工まで他の追随を許さない高度な事業体制を確立しております。橋梁建設や関連製品、道路トンネル向け鋼製セグメントなどの地下構造物、ジャケット工法をはじめとした港湾構造物など、高度な技術開発力、生産力、コスト競争力で強靱な国土づくりに貢献しています。

### 沿革

- 1977年 住友金属工業株式会社（現 日本製鉄株式会社）エンジニアリング事業部発足
- 1989年 鹿島橋梁工場として鹿島製鉄所にて操業開始
- 1999年 茨城県神栖市に新鹿島橋梁工場を新設
- 2009年 株式会社住金ブリッジに住友金属工業株式会社の橋梁事業を吸収分割
- 2009年 株式会社横河ブリッジホールディングスと住友金属工業株式会社の共同事業運営会社として誕生し、株式会社横河住金ブリッジに社名変更
- 2019年 社名を株式会社横河NSエンジニアリングに変更
- 2024年 株式会社横河ブリッジホールディングスの完全子会社となる



橋梁事業



橋梁関連製品  
NYラピッドブリッジ



橋梁関連製品  
STELL-C.A.P工法



橋梁関連製品  
SEFジョイント100



鋼製積層型支承板鋼管柱  
MY-ESTAS



地下構造物  
鋼製セグメント



# 株式会社 檜崎製作所



## 高い技術力で地域に喜ばれる橋づくりと 多様なニーズに応える商品開発を目指す

1935年に造船業として設立された檜崎製作所は、その造船技術をベースに橋梁（鋼橋）と機械鉄構（鉄管、船舶上架施設、ゲート、水処理装置など）の専門メーカーとして成長し、北海道・東北を中心に全国に向けて事業を展開してきました。これからも橋梁分野については、技術・安全・品質をさらに極め、主に北海道内におけるリーディングカンパニーとして事業拡大を続けていきます。一方、機械鉄構分野に関しては、船舶上架施設や水処理装置などのオリジナル商品をさらにブラッシュアップし、全国を舞台に多様化するニーズに積極的に応えていきます。

### 沿革

- 1935年 室蘭市築地町に株式会社檜崎造船所を設立
- 1975年 崎守工場操業開始
- 1984年 社名を株式会社檜崎製作所に変更
- 1986年 本社を所在地（室蘭市崎守町）に移転
- 2003年 株式会社横河ブリッジの子会社となる
- 2018年 本社新社屋完成
- 2025年 株式会社横河ブリッジホールディングスの完全子会社となる



水処理・環境製品



船舶上架施設



鉄構製品



橋梁



船舶上架施設



除塵機



ゲート（水門）



## 橋梁のプロであり、ITのプロである

横河ブリッジ技術情報は、1984年の創業以来、土木・建設分野における情報システムの開発・販売と情報処理サービスを展開してきました。土木・建設分野の情報化は、1970年代のCAD導入から始まり、1990年代の建設CALS、そして近年のCIM、i-Constructionへと進展してきました。横河ブリッジ技術情報では、これらの取り組みに歩調をあわせ、時には一歩先を行きながら進化を続け、特に橋梁を中心とした鋼構造物の設計・製作における一連の情報システムは多くのユーザーに支持されています。

## 鋼橋設計

### 鋼橋設計に係る各種サービスをご提供

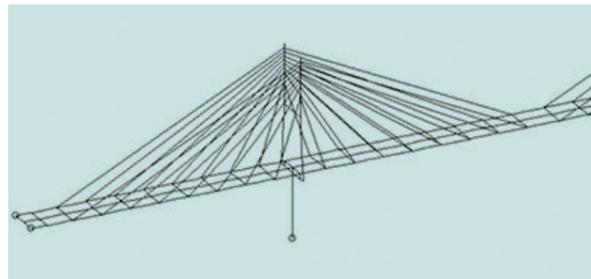
鋼橋設計における概略設計、詳細設計、復元設計などの各種システムやサービスをご提供しています。建設コンサルタント様や橋梁メーカー様をはじめ鋼橋設計に従事する多くの方にご愛顧いただいています。



## 構造解析

### 豊富な経験と高い技術力で、構造解析をお手伝い

お客様のニーズに合わせたモデル作成から報告書作成まで、品質の高いサービスをご提供しています。鋼橋はもちろん、さまざまな分野の構造解析をお手伝いいたします。



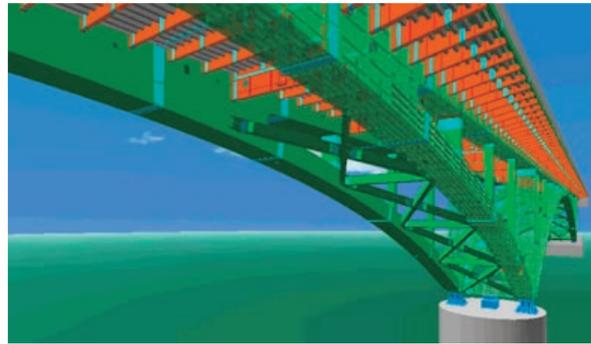
## 鋼橋製作

### 鋼橋製作の工程における品質向上と競争力強化をご支援

鋼橋製作における原寸～加工～組立～計測の過程で、コスト

削減と品質面で競争力を強化する支援システムをご用意しております。

大手ファブリケーターをはじめ、多くの採用実績があります。国内のあらゆる鋼橋製作の現場で活用されている関連ソリューションを取り揃えています。



## 生産性向上

### 技術開発の進むIT技術を活用したサービスをご提供

横河ブリッジ技術情報が開発したi-Construction関連システム「MeBiCLink」を活用することで、BIM/CIMモデルの作成が可能です。詳細度に応じたモデル作成が容易となり、IFCファイルへの出力も対応しています。その他、お客様のニーズに応じたサービスをご提供いたします。



## 保全・維持管理

### 橋梁維持・保全に関わる各種システムを構築

最新の画像処理技術を用いた、より安全かつ効率的な作業をお手伝いする各種ツールをご用意しています。アンカーボルト位置を計測するシステムや舗装業界向けの舗装厚を検測するシステムも高い評価をいただいています。



## 橋を見守るプロの技術者集団として

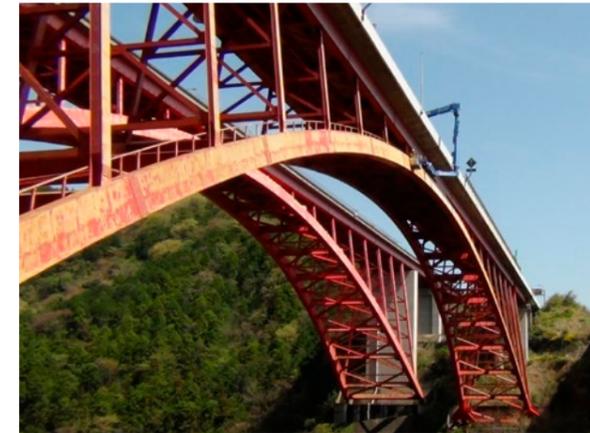
### さまざまな橋梁保全事業をサポート

ワイ・シー・イーは、当社グループの橋梁保全に特化した建設コンサルタントとして2000年に設立されました。日本の社会資本が建設から管理・更新の時代に移行しつつあるなか、新設橋梁建設から既設橋梁の補修、更新工事まで広範囲な分野で培われた技術力を生かし、建設コンサルタントとしての社会的使命に応えていきます。



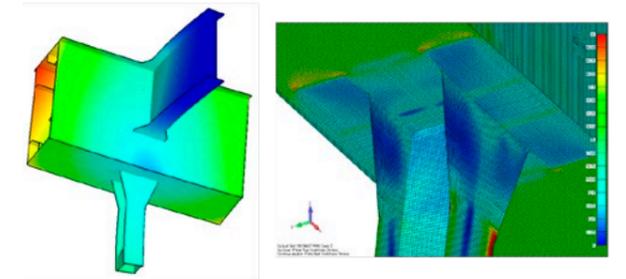
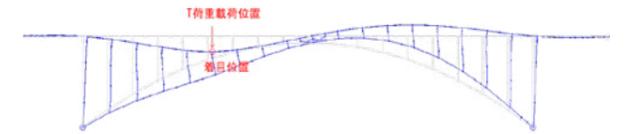
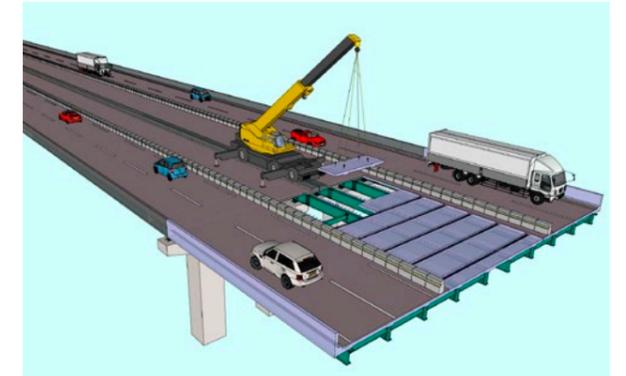
## 点検・調査・診断業務

構造物の適切な維持管理のために鋼橋、コンクリート橋、トンネルなど、道路構造物の異常や劣化、損傷などを調べる点検・調査・診断業務を実施しています。定期点検や第三者被害予防措置、大地震などの災害時の緊急点検も行っています。



## 設計・解析・検討業務

既設橋梁をはじめ各種構造物の長寿命化を目的とした、補修・補強設計や、耐震性向上を目的とした耐震補強設計を実施しています。また、これらの設計のために必要となる各種解析・検討業務も行っています。



FEMによる応力解析

## 実験・計測他業務

グループの設備を利用した実験や、現地で荷重載荷実験などを実施しています。既設構造物の変位や応力の動的計測、インターネット経由での遠隔モニタリングや3Dスキャナでの3次元計測、音カメラによる異音調査など計測業務も行っています。

